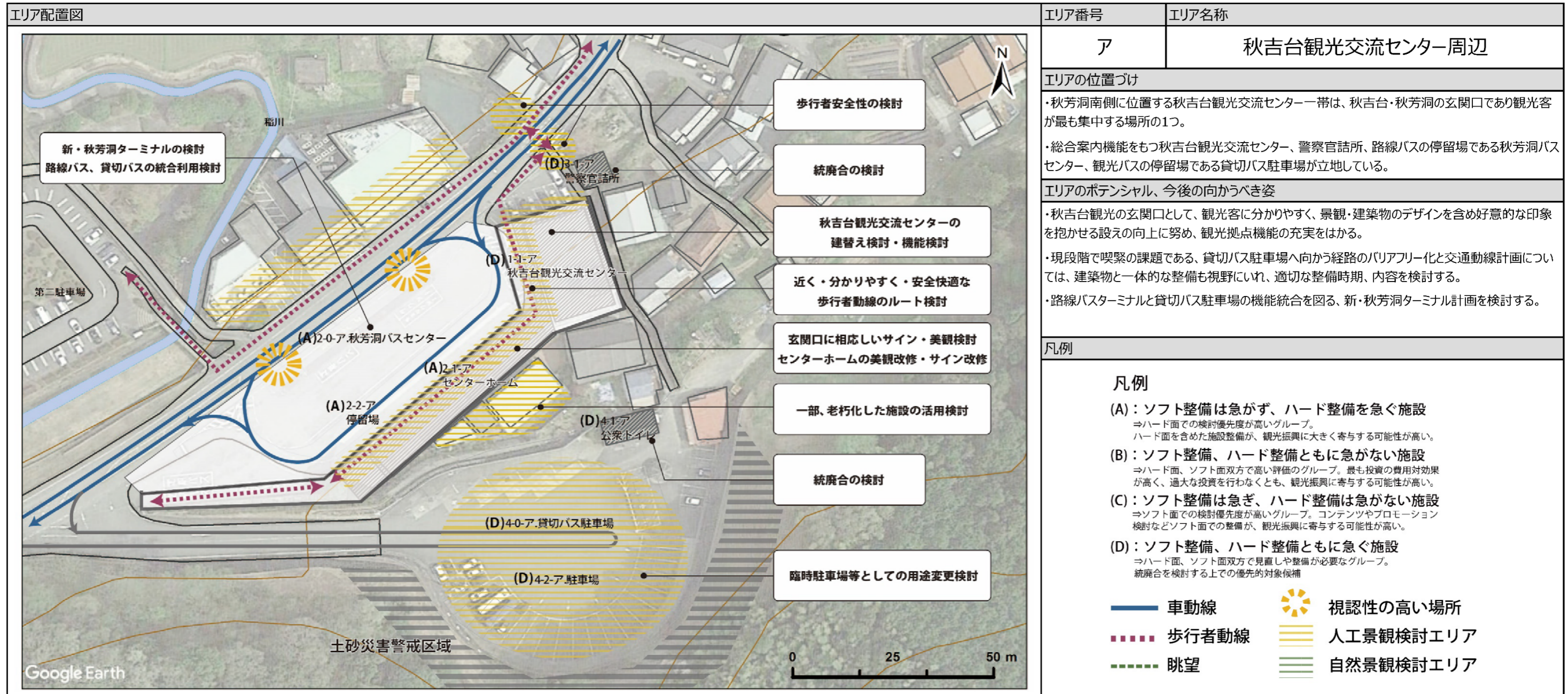


(3) エリア別マスタープラン

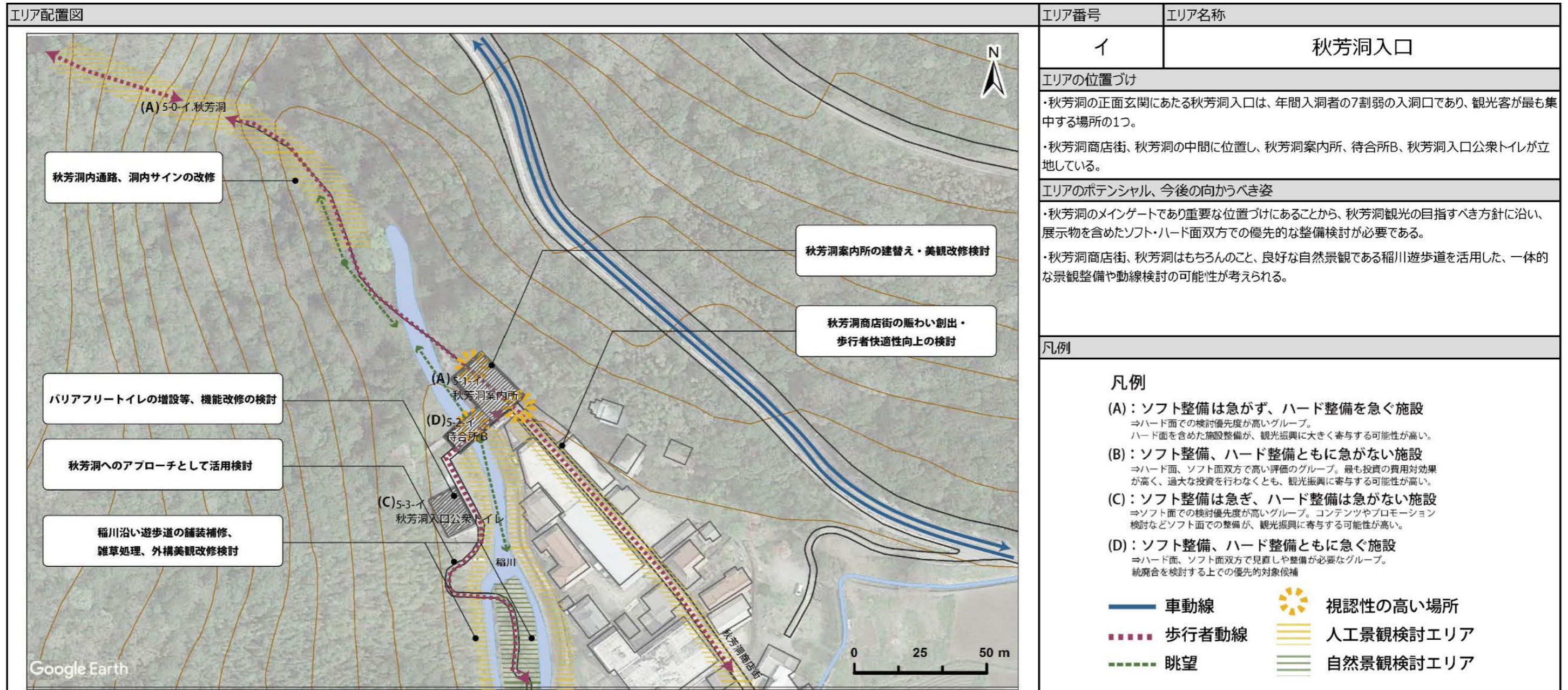
1. 秋吉台交流センター周辺



エリア整備戦略方針【アクションプラン案】

動線計画	景観計画	施設整備計画
<p>車動線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋芳洞バスセンターについて、貸切バス、路線バス乗降所の統合集約による、車両動線の整理。 ・貸切バス駐車場について、臨時駐車場等としての用途変更検討。 <p>人動線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察官詰所前の横断歩道周辺について、歩行者安全性の検討。 ・貸切バス、路線バス乗降所の集約により、近く・わかりやすく・安全・バリアフリーな歩行者動線のルート検討。 	<p>自然景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・秋芳洞ターミナルをとり囲む建築物に対する、玄関口に相応しい美観検討。 <p>人工景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した既存施設に対する景観検討、活用検討。 ・車両、歩行者双方へ視認性の高い、新・秋芳洞ターミナル周囲における案内サインの検討。 	<p>建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-1-ア. 秋吉台観光交流センター：ターミナル機能や周辺施設との一体整備を視野にいれた、建替え検討・機能検討。 ・2-0-ア. 秋芳洞バスセンター：新・秋芳洞ターミナルの検討。路線バス、貸切バスの統合利用検討。 ・2-1-ア. センターホーム：玄関口にふさわしいサイン、美観検討、サイン改修。 ・3-1-ア. 警察官詰所：利用実態を踏まえた、統廃合の検討。 ・4-1-ア. 公衆トイレ：利用実態を踏まえた、統廃合の検討 ・センターホーム沿いにおける、老朽化した一部市所有施設の活用検討

2. 秋芳洞入口



エリア番号	エリア名称
イ	秋芳洞入口
エリアの位置づけ ・秋芳洞の正面玄関にあたる秋芳洞入口は、年間入洞者の7割弱の入洞口であり、観光客が最も集中する場所の1つ。 ・秋芳洞商店街、秋芳洞の中間に位置し、秋芳洞案内所、待合所B、秋芳洞入口公衆トイレが立地している。	
エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿 ・秋芳洞のメインゲートであり重要な位置づけにあることから、秋芳洞観光の目指すべき方針に沿い、展示物を含めたソフト・ハード面双方での優先的な整備検討が必要である。 ・秋芳洞商店街、秋芳洞はもちろんのこと、良好な自然景観である稲川遊歩道を活用した、一体的な景観整備や動線検討の可能性が考えられる。	
凡例 凡例 (A)：ソフト整備は急がず、ハード整備を急ぐ施設 ⇒ハード面での検討優先度が高いグループ。ハード面を含めた施設整備が、観光振興に大きく寄与する可能性が高い。 (B)：ソフト整備、ハード整備ともに急がない施設 ⇒ハード面、ソフト面双方で高い評価のグループ。最も投資の費用対効果が高く、過大な投資を行わなくとも、観光振興に寄与する可能性が高い。 (C)：ソフト整備は急ぎ、ハード整備は急がない施設 ⇒ソフト面での検討優先度が高いグループ。コンテンツやプロモーション検討などソフト面での整備が、観光振興に寄与する可能性が高い。 (D)：ソフト整備、ハード整備ともに急ぐ施設 ⇒ハード面、ソフト面双方で見直しや整備が必要なグループ。統廃合を検討する上での優先的対象候補 車動線 歩行者動線 眺望 視認性の高い場所 人工景観検討エリア 自然景観検討エリア	

エリア整備戦略方針【アクションプラン案】

動線計画	景観計画	施設整備計画	稲川遊歩道の整備イメージ
車動線 ・秋芳洞商店街や周辺の道路に対し、観光客と地元住民の利用に際する歩車分離の考え方を整理する。 人動線 ・秋芳洞内通路、洞内サインの改修。 ・稲川沿い遊歩道を、秋芳洞への第二のアプローチとして活用検討。 ・秋芳洞商店街の賑わい創出、歩行者快適性向上の検討。	自然景観 ・稲川護岸の雑草処理、外構の美観改修検討。 ・稲川沿い遊歩道の外構美観改修検討。 人工景観 ・秋芳洞商店街の賑わい創出、歩行者快適性向上の検討。 ・秋芳洞や秋芳洞商店街からの視認性が高い秋芳洞案内所入口における、建築物と一体となった案内サインの検討。	建築物 ・5-1-イ. 秋芳洞案内所の建替え、美観改修検討。 ・5-2-イ. 待合所B：秋芳洞案内所と一体的な整備検討。 ・5-3-イ. 秋芳洞入口公衆トイレ：バリアフリートイレの増設等、機能改修の検討。	